



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2021年 7月29日朝刊中部版



焼津市の焼津神社は本殿の畳を畳ふすメーカー「キツタカ」（東京都）が市内水田で栽培したい草を使った製品に張り替えた。同社は5年前から栽培を実施し、昨年に製品化までこぎ着けた。地域住民の親しみ深い建物に敷くことで、ブランド確立の弾みとしたい考えだ。

焼津神社本殿に 地元産い草の畳

都内メーカー5年 栽培から ブランド確立へ

地元産のい草で作った畳に張り替えられた本殿＝焼津市の焼津神社

張り替えたのは同神社本殿に20年ほど前から敷いている49畳分の畳。同社が昨年収穫したい草で作った製品を持ち込み、このほど設置した。鈴木啓央宮司は「焼津でい草を作っていることをアピールできれば」と話す。同社が栽培している同市田尻北の水田は、海岸に近く塩害の影響を受けることから、水稻栽培が困難とされていた。そのため、塩害に強いとされるい草を導入し、産地化を視野に栽培を進めている。

昨年は約2千平方メートルで約800枚分のい草を収穫した。今年は約4千平方メートルにまで広げて、収穫量の増加を目指す。

（焼津支局・福田雄一）

①焼津産のい草を焼津神社に設置することで、ブランドを確立していく具体的な方策を、高校生の自由な発想で考察せよ。

②焼津神社の御祭神である日本武尊は、静岡県にゆかりの深い伝承をたくさん残している。あなたが住んでいる地域の日本武尊伝承を調べ、文化がどのように継承されているか考察せよ。

③イグサの香りには人をリラックスさせる効果があると言われるが、健康志向の高まりを踏まえどのような利用方法があるか、考察せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝地域経済学、経営学に関する問題、②＝民俗学、宗教学に関する問題、③＝植物学、建築学、デザイン学に関する問題